

## 「第9回 SDGs 学生小論文アワード」受賞論文決定

～“企業が持続的に成長する人事戦略とは”をテーマに7本が受賞～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、「第9回 SDGs 学生小論文アワード」by 住友理工の最終審査会を実施し、4 賞計7本の受賞論文を決定しましたのでお知らせいたします。審査委員長には昨年同様、高村ゆかり氏（東京大学未来ビジョン研究センター教授）を迎え、厳正な選考・審査を経て、決定したものです。

募集テーマは、“企業が持続的に成長する「SDGs/ESG 時代の人事戦略」とは”。SDGs の17の目標の一つ「8.働きがいも経済成長も」にある通り、従業員に投資して能力を引き出し、働きがいや生産性の向上を目指す「人的資本経営」に注目が集まっています。では、企業が将来世代も含めたあらゆるステークホルダーの要望に応え、持続的に成長する人的資本経営を実現するには、どのような人事戦略が有効でしょうか。国際情勢が不安定さを増すなかで、今後の社会、環境、経済の変化を踏まえて、学生ならではの独自の視点で具体的な方法を提案していただきました。

最優秀賞は、飯塚真由さん（一橋大学）、佐藤紺衣さん（慶應義塾大学）の「地域お魚企業合同人事部モデル～石巻市の漁業・水産加工業に着目して～」。最優秀次席には、大和夕麻さん、高岸真央さん、羽太友梨恵さん（いずれも明治大学）の「若者とパーパスで繋がる中小企業の人事戦略～企業と学生とのパーパスの共創実験を通じて～」が選ばれました（各賞受賞者一覧参照）。

なお、当社の経営 Vision「2029年 住友理工グループ Vision」の方向性の1つである「未来を開拓する人・仲間づくり」を強化して取り組んでいくために、後日、受賞者と審査委員、当社社長を含めた役員と意見交換の場を設ける予定です。

当社グループは、今回ご応募いただきました学生の皆さまの新鮮な意見を事業運営に生かし、今後も未来を担う若者の育成に貢献する活動を推進してまいります。

「第9回SDGs学生小論文アワード」by住友理工 各賞受賞者一覧 (敬称略)

氏名・学校・研究科/学部	論文タイトル
<b>最優秀賞 (賞金 100万円)</b>	
<b>飯塚真由</b> 一橋大学 社会学部 <b>佐藤紺衣</b> 慶應義塾大学 環境情報学部	地域お魚企業合同人事部モデル～石巻市の漁業・水産加工業に着目して～
<b>最優秀次席 (賞金 50万円)</b>	
<b>大和夕麻</b> <b>高岸真央</b> <b>羽太友梨恵</b> 明治大学 政治経済学部	若者とパーパスで繋がる中小企業の人事戦略～企業と学生とのパーパスの共創実験を通じて～
<b>優秀賞 (賞金 10万円)</b>	
<b>島村恵理</b> 慶應義塾大学 総合政策学部	はたらくということ:一人ひとりが働きながら幸せに生きていくための考え方と「つくる」実践ワークショップ
<b>和田美遥</b> <b>中村寧々</b> 法政大学 人間環境学部	人材が紡ぐ価値創造企業
<b>山老貫太</b> <b>丸野寧</b> <b>神原一輝</b> 明治大学 政治経済学部	地域中小企業の新たな人事戦略としての地域共同アルムナイコミュニティ
<b>審査委員特別賞 (賞金 3万円)</b>	
<b>山崎柚佳</b> <b>塚原彩未</b> 共愛学園前橋国際大学 国際社会学部	新しい育児休業制度による女性の働きがいの向上
<b>渡辺洋平</b> 横浜国立大学 経営学部	日本企業が「赤ちゃん」から学べること

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋  
 tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>